

知らないあいだに『資金不足』!?



日本共産党市議会議員

小田桐たかし

歳入歳出差引累計			
	H23年度	H24年度	H25年度
4月			32億 947万円
5月			26億 4242万円
6月	19億6千万円	36億4千万円	22億 1276万円
7月			25億 1300万円
8月			12億 706万円
9月	31億5千万円	24億8千万円	△14億 7841万円
10月			△78億 8055万円
11月			△81億 2768万円
12月	△5千万円	△6億2千万円	△44億 2970万円
1月			△52億 3545万円
2月			△56億 1148万円
3月	△13億3千万円	△9億6千万円	△63億 1899万円
4月			△79億 7212万円
5月	±0	±0	±0

H23・24年度は4半期ごとの算出(四捨五入)。△は赤字額。

小田桐市議が委員長を務める『市民総合体育館建設に関する特別委員会』で市の年間収支が明らかに。国県補助の額や収入時期は違うとはいえ、年度末の赤字額は、例年の6〜8倍というのは異常です。

併設校・体育館建替えによる影響ですが、都合の良い資料しか市民に知らせないのでは、『市民自治』にも反する行爲です。

日本共産党は、学校新設も体育館建替えも、



「低減」と広報で宣伝するも…
体育館維持管理に毎年1億円!

「体育館建替え後の維持管理費は毎年1億円。利用料収入以外の不足金4〜5千万円は市税投入…」という計画に、小田桐市議は、高齢者への訪問事業や私立幼稚園児補助金の大幅拡充もできると指摘し、税金の使い方を正すよう求めました。

人口誘致などTX沿線の起爆剤ではなく、シンプルで利用者のための設計とし、かつ利用者の増加に合わせ柔軟に増改築できる内容を提案しています。

年度末の赤字額 例年の6〜8倍強